

# 擧

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

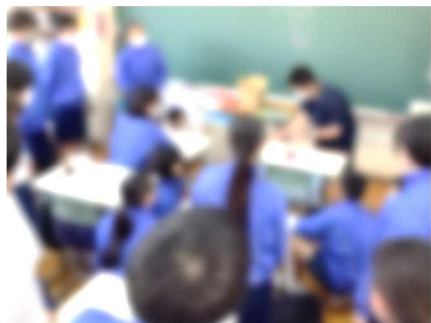
## 体育祭に向けて

来る6月2日(金)は、体育祭です。世の中が次第に活気を取り戻していく中、本校の体育祭も、盛り上がるのが大いに期待されます。生徒が主体となって作り上げる体育祭。そのために、実行委員会と応援団リーダーが、早速、動き出しました。

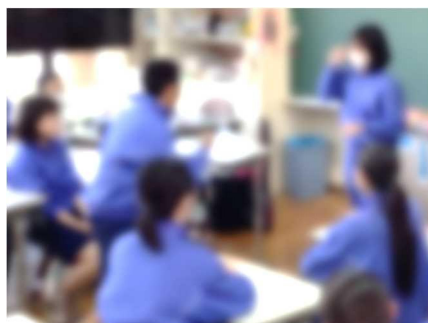


【各学年の実行委員が、学年主任の先生と、それぞれの種目の段取りについて話し合っています】

本格的な練習は、29日(月)からの予定ですが、「段取り八分」という言葉にもあるとおり、きちんと準備しておけば、短い期間でも効率的に練習できることが期待できます。入退場、競技の流れやルール、用具の位置など、自分たちが指示を出して練習を進めていくために、計画を立てています。



【まずはポンポンが無くては。先生から作り方を教わりました】



先 【話合いの中で、両軍団長によるジャンケンが勃発。前哨戦か？勝負は？】

誰もが、体育祭を楽しみたい、一生懸命やりたい、いい思い出にしたい、という気持ちを高めていることでしょう。

ここにいるリーダーたちは、全校生徒のその気持ちが、いっそう高まって、よりよい形になるように、頑張っています。

体育祭の成功は、一人ひとりの意欲と、みんなが協力しようとする姿勢にかかっています。

体育祭まで、あと2週間。スローガンも決まりました。暑い日が続くことが予想されますが、体調を整え、怪我の無いように注意して、全力で取り組んでいきましょう。

保護者の皆様におかれましては、体操服の洗濯、必要な用具や水分の準備など、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

## 歌おう・歌います・歌うとき

体育祭に向けての気運が高まる中、歌声活動も徐々に盛り上がってきました。10日(水)には、3年生が、1年生の帰りの会に出向いて、「次の空へ」の指導をしました。各クラスがパートごとに分かれて、自信を持って歌えるように、励まし、一緒に歌っていました。

学級合唱の特徴は、「歌の好きな人も苦手な人も、一緒になって作り上げること」にあると考えます。そこが、学級合唱の最も難しいところであり、そして醍醐味であると



【ずらりと並んだ一年男子。これから声変わりをすると、さらに頼もしい歌声になるでしょう】

【廊下に並び、窓を開け放ち、外に向かって朗々と歌う生徒たち。天気もいいし、気持ちよさそう！】



言えます。

互いの「得意・苦手・好き・嫌い」を乗り越えて、一つのものを作り上げる喜びを、これからの取組の中で、ぜひ、分かち合っていてほしいと願います。

一方、まさに「同好の士」が集まったのが、「有志合唱団」。こちらは、「合唱の好きな人」が団結し、意欲を高め、技術を磨き、誰もが感動できる合唱を作り上げようとしています。

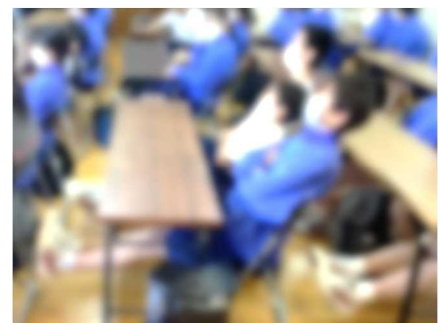
12日(金)に発足し、17日(水)には、早速、基礎練習が行われました。



【腹筋を意識して、息を吐ききって、大きく吸って…腹式の呼吸、壱の型、S音呼吸！スーーーーー…】



【その場でジャンプしながら「あー♪」と発声する練習。腹筋が鍛えられれば、音が揺れなくなってくるか】



【脚を上げて、腹筋に負荷をかけた状態で発声練習する、という方法も教わりました】

先生と先生の指導の下に始まったこの日の練習。「意欲が何より大事だよ。そして次に大事なものは、声量ではなく、正確な音程だよ」など、良質な合唱を作るための、具体的なアドバイスが次々に伝えられました。

写真にあるとおり、腹式呼吸で声を出すために、腹筋を意識した基礎練習のメニューを、早速実践。地道な活動ですが、これこそが土台となるため、これをしっかりと積み重ねていくか否かで、これからの伸び方も変わってくることでしょう。

この有志合唱団の活動は、集まって歌うことだけが目的ではありません。この活動で身に付けた様々な練習方法を、各団員が学級に持ち帰って活用することで、各学級の合唱を充実させ、上達につなげていくことも、大事な目標です。

学級で歌う時間は、音楽の授業と帰りの会の時だけ。その短い時間を、より効率的に使って、一人でも多くの生徒に「できた」「楽しかった」という達成感や充実感を味わってほしいものです。

## Hey! Hey! Ho!

お昼の放送では、いろいろな曲が流れます。耳慣れない音楽も多く、「…なるほど、最近の若者はこういう曲を聴いているのか…」などと、思いながら聴いています。

ここ数年、小中学生に「どんな歌手が好きなの？」と尋ねると、「〇〇です！」と教えてくれるのはよいのですが、初めて聞くような名前が多く、「へ、へえ〜…」と曖昧な返事しかできないことが、少なくありません。世代間格差というものでしょうか。

そんな中、16日(火)に、スピーカーから流れてきたのは、幽玄な尺八の音色に、優しく力強い歌声。そう、往年の演歌の名曲「与作」でした。私が小学生だった時代に流行った、国民的なヒット曲です。「何という渋い選曲…」と驚いていると、続いて、これまた名曲「まつり」をオンエア。なかなか攻めたラインナップです。お送りしたのは、こちらの写真の二人のDJ。「放送室に、北島三郎のCDがあるので、流しました！」と明るく話してくれました。お昼の放送も、まさしく多様化の波に乗っています。

